

令和5年度 第2回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	社会福祉法人くらしのハーモニー
事業所	24時間サポートくらしのハーモニー

● 開催日時・場所

日時	令和6年3月15日(金) 14:30~15:30
場所	オンライン開催(ZOOM)

● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	ラハイナ訪問看護ステーション(所長 看護師)	水口氏
2	かどさか内科クリニック ケアプランセンター頼政道(ケアマネジャー)	帆足氏
3	東宇治北地域包括支援センター(保健師)	北井氏
4	介護支援センターくらしのハーモニー(ケアマネジャー)	福本氏
5	宇治市介護保険課給付係	栗山氏
6		
7		
8		
9		
10		
11		

● 議事

NO	議事内容
1	サービス提供実施状況
2	今年度の振り返り
3	事例紹介(個人情報保護の観点からホームページ掲載分からは削除)
4	意見交換・その他
5	令和5年度地域密着型サービス外部評価

● 記録

No.1~4	
水口氏	訪問看護や看護アセスメントを複数のご利用者でかかわっているが、よく連携してもらっている。スマケアの記録だけではなく、直接電話連絡したりなど密に対応してもらっている。事例紹介の中で、「ご利用者への寄り添いが足りなかった」と自己評価されているが、普段定巡と関わらせてもらった一生懸命寄り添おうとしているのは十分に伝わっていると思う。地域に必要な不可欠なサービスであり、今後も連携していきたい。
北井氏	包括支援センターの相談職としては直接かかわる事が少ないが、事例のような看取りニーズには定巡が必要不可欠。ご利用者の生活状況や心身状況に大きな変化が生じるケースは非常に頼りになるサービスだと思う。
福本氏	つい最近、新規でサービス提供をお願いしている。サービス開始したばかりで、自身もケアマネ経験が浅くサービスについてわからないことも多いが、これから一緒に学んでいきたい。
帆足氏	事例について、自分も有料老人ホームで看取りを経験したが、24時間ケアの中で全ての支援者が同じ情報や意識を持つことはとても難しいこと。それでも、速い変化に柔軟に対応し、亡くなる1週間前までサ高住で過ごせたのは、BESTだったのではないかと感じた。
栗山氏	昨年4月から介護保険課に異動したばかり。自身の身内が定巡サービスの利用経験があったが、今回初めてサービス内容などを詳細に聞かせてもらった。事例にあった「寄り添い」については人により感じ方が違うし、その時にできる最大限が提供できれば良いのではと感じた。これから看取りケースはもっと増えていくと思うので必要なサービスだと思う。
No.5	
別紙の自己評価・外部評価評価表を参照	

議事録作成	中村 陽
-------	------

以上

サービス実施状況(令和5年4月1日～令和6年2月29日)

【介護度別サービス利用状況】登録者数 43名

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用実人数			24	23	23	26	28	25	
居住場所		東風館	17	18	17	20	22	18	
		自宅	7	5	6	6	6	7	
(再掲)	新規	新規利用者数	3			3	1		
		相談 経路	暮らし 居宅	3			3	1	
			他居宅						
	終了	終了者数	1	1	1			4	
		終了理由	死去	専門的 ケア希望	転居			療養型・ GH・死去	
				10月	11月	12月	1月	2月	平均
利用実人数			27	29	30	27	29	27	
居住場所		東風館	19	21	20	18	20	20	
		自宅	8	8	10	9	9	7	
(再掲)	新規	新規利用者数	2		2				
		相談 経路	暮らし 居宅			1			
			他居宅	1		1			
	終了	終了者数		2	1	1			
		終了理由		緩和ケア病 棟など入院	入院	訪問介護 に移行			

介護度	人数 (内、東風館)	定期訪問計 画回数 ※日平均	その他サービス利用状況					
			定巡 訪看	医療 訪看	訪問(訪看) リハビリ	障害ホー ムヘルプ	通所系サービス (内、こはた)	居宅支援事業所
							平均利用回数	
要介護1	9 (7)	1.8	2		1		6(2) 2	暮らし:5 他居宅:3
要介護2	13 (10)	2.6	6	2	1		6(1) 1.8	暮らし:10 他居宅:1
要介護3	15 (13)	3.6	1	3	2	1	8(2) 1.7	暮らし:14 他居宅:1
要介護4	7 (4)	6.3	2	1	2		4(2) 1.8	暮らし:5 他居宅:1
要介護5	2 (0)	3.3	1	1	1			暮らし:0 他居宅:3

【平均介護度詳細】

①サ高住利用者	2.5	②地域居住利用者	2.9	③全体	2.6(前年度比±0)
---------	-----	----------	-----	-----	-------------

【利用者詳細】

世帯状況	独居：27名 同居(老夫婦含む)：19名 ※独居のうち、サ高住：21名		
平均年齢	87歳(前年度比-1)		
男女比	男性：21名 女性：25名		
主な疾患や症状	パーキンソン病、糖尿病、心不全、腎不全、白内障・緑内障、 前立腺肥大症、骨粗鬆症(転倒骨折)、K末期、廃用性症候群、 幻覚性妄想障害、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、 不安障害、痔核、脳腫瘍、多系統萎縮症、ALS、後天性難治性血友病、 進行性核上性麻痺等		
通所系サービス利用者数	24名	週あたりのデイ利用回数	2.0回(平均)
1日3回以上の定期訪問利用者数	14名	ショートステイ利用者	1名
主な利用ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ▼物忘れや生活行為遂行が不十分で、食事水分や内服、家事支援、安否確認等、生活全般の支援をして欲しい ▼パーキンソン病で適切な内服が必要だが飲み忘れがあり、内服支援をして欲しい ▼自宅(サ高住)で終末期を過ごすための厚いケア体制を整えたい ▼急激な心身状態の変化で生活が乱れており改善したい ▼転倒で起き上がれない、または転倒による骨折を繰り返しており、緊急時に対応してもらえる体制を整えたい ▼1日4回以上の点眼の介助をして欲しい ▼高齢な介護者の負担軽減のため、毎日移乗や排泄ケア等を提供欲しい ▼家族も高齢となり世話に通うのが大変なため、負担軽減したい ▼サ高住での新生活でどんな支援が継続的に必要かを見極めるため、生活状況のアセスメントをして欲しい ▼突然の退院指示で正確な情報が得られず、退院直後の不安定期を支えつつ、心身状況・生活状況のアセスメントをして欲しい ▼障害などのサービスを整えるまで支援をしてほしい 		
主な定期訪問のサービス内容	起床就寝介助、排泄介助、陰部洗浄、更衣介助、移動・移乗介助、入浴介助、食事(弁当やレトルトなど)の温め、盛り付		

	け、簡単な調理、配膳下膳、後片付け、洗濯、掃除、臨時の買い物、内服促しや確認、水分摂取促し、安否確認、戸締り、ごみ整理・ごみ出し、汚物処理、不安の傾聴、その他		
緊急コール回数(月平均)	31回(不定愁訴、誤報含む) ※サ高住のコール除く		
緊急コール・随時訪問の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自力でトイレに行けないので助けて欲しい ・支援時体調不良の様子あり、後に臨時で状況確認 ・点眼がうまく出来ないで介助して欲しい・「不安で動悸がして息苦しいので助けて欲しい」 ・「排泄を失敗してどうしたら良いか分からない」 ・「足腰が痛くて動けないので助けて欲しい」 ・「転倒してしまって動けないので助けて欲しい」 ・「ベッドから落ちて動けないので助けて欲しい」 ・声は聞こえるが内容が聞き取れず、状況確認(誤報) 		
定期訪問回数	随時訪問回数	定期支援時間	随時支援時間
2.3回/日	7.7回/月	11.7分/回	5.8分/回

《今年度の振り返り》

今年度のサービス提供動向としては以下の通りです。

当事業所は令和5年1月からサービス提供6年目に入り、昨年度よりもご利用者は増え、今年度は年間を通して平均約27名(前年比+1名)のご利用者へサービスを提供しています。

今年度は今後起こりうる重度化や看取りに対応する為に新ケア体制を構築したり、管理者が変更になったりと様々な変化に対応することに注力した1年となりました。

今年度の新規ご利用者の8割がサ高住のご利用者でした。下半期は東風館の入居者を中心に新規利用が多くあり、定巡を開設して初めて30名を超えるご利用者の方にケアを届けることが出来ました。しかし、体調変化による入院でご利用者数の変動が大きかったです。一方でサ高住以外の地域居住のご利用者の支援件数は昨年度よりも増加しているものの、短期利用限定のご利用者が多かったです。例としては次のサービスを調整するまでの支援や同居家族の入院中の支援など、

様々なニーズがあることを実感しました。また、地域の ALS のご利用者の支援など今まで経験したことのない出会いがあり、柔軟な支援内容と 24 時間対応、訪看との密な連携など、定巡の強みを再確認することが出来ました。

今後、東風館だけではなく地域の重度のご利用者や看取りに対応する為、深夜帯の定期訪問が出来るように人員体制の更なる強化を目指しています。徐々にではありますが、地域居住ご利用者もしっかりと支えて行けるよう努めて参ります。

今後とも、宜しくお願い致します。